

J-FUN

難民支援の新しい枠組みが発足

Japan Forum for UNHCR and NGOs



約半世紀も前に国連総会で採択されたUNHCR事務所規程(1950年)でも予見されたように、難民保護とその恒久的解決を図るUNHCRの任務には民間機関(private organizations)との連携・調整が必要であると想定されていた。『オスロ宣言および行動計画』により難民支援と保護活動におけるUNHCRとNGOの連絡・提携をより強固とするためにパリナック(Partnership in Action: PARinAC)という枠組みが1994年にスタートした。その後、UNHCRとNGOは難民支援の現場で協働関係を強化し、執行準備委員会(Pre-Excom)への参加を通して連携を促進してきた。今やNGOの関与なくして、UNHCRの活動は成り立たない。パリナックはその使命を終え、その枠組みも発展的解消を遂げるようになった。

しかしこれは難民保護・支援の必要性の解消を意味するものではない。UNHCR駐日事務所と日本のNGOは、パリナックの精神を受け継ぐ連絡・連携の枠組みとして、2006年6月24日にJ-FUNを発足させた。

J-FUN(Japan Forum for UNHCR and NGOs - 日本UNHCR・NGO評議会)とは、難民支援と保護活動に従事する団体が自由に参加できる開かれたフォーラムであり、「顔(Face, Visibility)」、「声(Voice, Advocacy)」そして「手足(Operation, Research)」を三本柱のテーマとして活動する。

顔 (Face, Visibility)

難民・人道支援は数学とは異なり、解答は一つではない。J-FUNでは、日本のNGOとUNHCR駐日事務所と一緒に、「日本発の人道支援(日本のレシピを含む)」を模索する。

声 (Voice, Advocacy)

世界には多くの忘れ去られた難民・避難民がいて、支援するNGOの苦労も一方ならぬものがある。J-FUNは、難民や現場で働く人々の声を日本の人たちに伝えていきたいと考える。

J-FUNメンバー (2006年10月18日現在、31団体・機関、アルファベット順)

Action for Greening Sahel Japan	緑のサヘル
ADEO Japan	アデオ・ジャパン
Adventist Development and Relief Agency	アドラ・ジャパン
Africa Japan Forum	アフリカ日本協議会
Amnesty International Japan	アムネスティ・インターナショナル
Association for Aid and Relief	難民を助ける会
The Association of Medical Doctors of Asia	アムダ
Bridge Asia Japan	ブリッジ・エーシア・ジャパン
Care International Japan	ケア・インターナショナル・ジャパン
Catholic Tokyo International Center	東京カトリック国際センター
Japan Association for Refugees	難民支援協会
Japan Association for UNHCR	日本UNHCR協会
Japan Evangelical Lutheran Association	日本福音ルーテル社団
Japan International Volunteer Center	日本国際ボランティアセンター
Japan Lawyer's Network for Refugee	全国難民弁護団連絡会議
Japan Legal Aid Association	法律扶助協会
Japan NGO Center for International Cooperation	国際協力NGOセンター
Japan Platform	ジャパン・プラットフォーム
Japan Red Cross	日本赤十字社
Japan-Sahara Association	日本サハラウイ協会
JEN	ジェン
Nanmin Now!	難民ナウ!
Peace NGOs Hiroshima	平和貢献NGOsひろしま
Peace Winds Japan	ピース・ウインズ・ジャパン
Refugee Assistance Headquarters	難民事業本部
Save the Children Japan	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
Shanti Volunteer Association	シャンティ国際ボランティア会
Support 21	さぽうと21
Telecom for Basic Human Needs	BHNテレコム支援協議会
World Vision Japan	ワールド・ヴィジョン・ジャパン
UNHCR Representation in Japan	UNHCR駐日事務所
英語名	日本語名

手足 (Operation, Research)

日本国内外を問わず、UNHCRとNGOの活動はフィールド(現場)が中心である。J-FUNは、他の国連機関や外務省、JICA、学識者等と連携しつつ、現場での仕事の質を上げることを目指している。

さらに、ともしれば深刻になりがちな難民・人道支援に、FUN(楽しさ、面白さ)の要素を加味していくこともJ-FUNの任務である。本誌でも『スパイス』としてサッカーや映画や「食」を通じた難民支援などを紹介したが、難民の持つ才能や可能性、喜びや誇りといった側面にもJ-FUNでは焦点を当てて活動したいと考えている。

その意味ではJ-FUNの活動そのものが、人道支援における日本のレシピ(創意工夫)の一つとして有意義なものとなるように、日本のNGOと外務省及び経団連のコンソーシアムであるジャパン・プラットフォームとも連携しながら、メンバー一同頑張って知恵を絞りたいと決意している。

J-FUN初代共同議長
ワールド・ビジョン・ジャパン
高瀬 一使徒 海外事業部長
UNHCR駐日事務所 岸守 一 副代表